

第2回福島第一廃炉国際フォーラムの開催について

2017年3月2日

原子力損害賠償・廃炉等支援機構

原子力損害賠償・廃炉等支援機構は、地元の皆様の声を聴くとともに、福島第一廃炉に関する情報を分かりやすく提供し、併せて国内外の専門家が廃炉の最新の進捗、技術的成果を広く共有するため、第2回福島第一廃炉国際フォーラムを以下のとおり開催します。

1. 開催体制

(主催)原子力損害賠償・廃炉等支援機構(NDF)

(協力・後援(予定))関係省庁、福島県、いわき市、田村市、南相馬市、川俣町、広野町、楢葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯館村、日本原子力研究開発機構(JAEA)、国際廃炉研究開発機構(IRID)、福島大学、福島工業高等専門学校、福島民報社、福島民友新聞社、日本原子力学会、日本原子力産業協会、東京電力ホールディングス株式会社(TEPCO)、駐日英国大使館、駐日仏国大使館、駐日米国大使館等

2. 実施案

(1) 日程・場所:2017年7月2日(日) 広野町中央体育館(福島県広野町)
同 3日(月) いわきワシントンホテル(福島県いわき市)

(2) プログラム骨子案及び主な参加予定者

① 初日(7月2日(日))、広野町中央体育館

地元の皆様を主な対象としたプログラム

(午前)

・開会挨拶

・講演「福島第一原子力発電所の廃炉とは何なのか(仮)」(開沼博 立命館大学衣笠総合研究機構准教授)

(福島第一原子力発電所の廃炉とはどのようなものか、どんな特徴があるのかなどについての分かりやすい紹介)

(午後)

・パネルセッション「福島第一廃炉の現状と展望(仮)」

(福島第一原子力発電所の廃炉の現状と今後の展望、地元の皆様の心配や期待などについての意見交換)

・閉会挨拶

② 2日目(7月3日(月))、いわきワシントンホテル

技術的専門家を主な対象としたプログラム

(国内外の専門家による福島第一廃炉の最新状況、関連技術の報告及び意見交換)

(午前)

- ・開会挨拶
- ・福島第一廃炉の最新状況の報告
- ・デブリ性状評価についての専門家ワークショップ(座長:小川 JAEA 廃炉国際共同研究センター センター長)

(午後)

- ・技術ポスターセッション(関係機関、学校、産業界)
- ・燃料デブリ取り出し時の安全・リスク評価についての専門家ワークショップ(座長:ウェイトマン元英国原子力規制庁長官)
- ・廃棄物対策についての専門家ワークショップ(座長:朽山原子力安全研究協会技術顧問)
- ・閉会挨拶

※海外からは、マグウッド経済協力開発機構原子力機関(OECD/NEA)事務局長、レンティッホ国際原子力機関(IAEA)事務局次長、ウェイトマン元英国原子力規制庁(ONR)長官、ザバラ スペイン放射性廃棄物管理公社(ENRESA)総裁等が参加予定。

※技術ポスターセッションの募集要項は、機構ホームページ(日:<http://www.dd.ndf.go.jp/index.html>、英:<http://www.dd.ndf.go.jp/eindex.html>)に提示。

※プログラム詳細及び一般参加登録手続きは、準備が整い次第、追って公表予定。

問い合わせ先:

原子力損害賠償・廃炉等支援機構
廃炉総括グループ

野村

03-5545-7104